

洗浄による土壌浄化工法

Soil Washing Technology



土壌洗浄設備全景（処理能力30m³/Hr + 10m³/Hr）



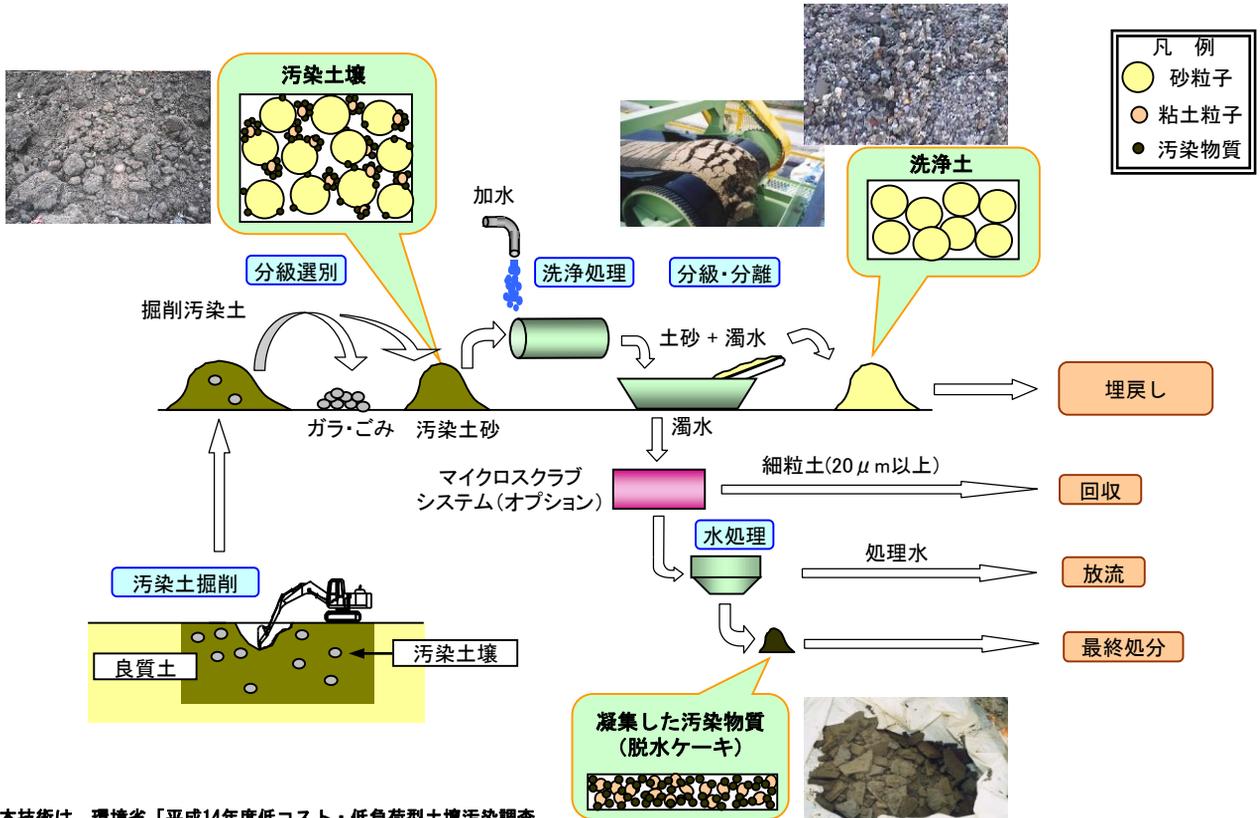
洗浄機と分離装置

原理

掘削した汚染土壌を機械的に洗浄・分級して汚染物質（重金属類、油分、農薬等）を分離・除去する方法です。

特徴

- ◆従来の洗浄工法に比べ使用水量が少ない
- ◆大量の処理が短時間でできる
- ◆油と重金属類の複合汚染にも適用できる
- ◆洗浄剤を使わずに高い浄化効率を得ることができる（特許4646047、4697719）



※本技術は、環境省「平成14年度低コスト・低負荷型土壌汚染調査対策技術検討調査」の対象として採択され、評価を受けています。

高度化システム

- ◆ マイクロスクラブシステム（特許412276）：細粒分が多い場合
- ◆ 簡易土壌洗浄システム：対象土量が少ない場合
- ◆ コンパクトシステム：敷地が500m²程度で行えるシステム
- ◆ ハイブリッドシステム：他工法との組み合わせにより浄化効率の向上

2021
150

おかげさまで、私たち鴻池組は
2021年で創業150周年

まじめに、まっすぐ
KONOIKE

(株)鴻池組 環境エンジニアリング本部
大阪 TEL 06-6245-6589
東京 TEL 03-5201-7920
<https://www.konoike.co.jp/request/index.php>